

13. 近代世界の確立とアジア

欧米諸国の近代化

イギリス…16世紀、女王① エリザベス1世 の時代に、② 東インド 会社の設立など
→海外発展の土台を築く

③ 絶対王政 を確立しようとする国王と議会が対立→1642年、王は君臨するが議会が指導する
④ ピューリタン 革命→1688年、⑤ 名誉革命 →権利の章典を發布

アメリカ…イギリス本国による新税に抗議し独立を目ざす→1775年、独立戦争→1776年、

⑥ 独立宣言 を発表→戦争に勝利し、アメリカ合衆国を立てる

フランス…国王ルイ14世のころ③を確立、18世紀、啓蒙思想の広まりフランスの⑦ ルソー は『社会契約論』で人民主権を唱える→国王の専制政治や社会制度に対して批判が強まる

→1789年、⑧ フランス 革命がおこる→国民議会在が⑨ 人権宣言 を発表

⑩ 産業革命 …イギリスで蒸気機関が新しい動力として利用され、工業の生産力が向上→社会や生活が大きく変化→安価な製品を世界中に輸出したイギリスは「⑪ 世界の工場」とよ

ばれる
⑫ 資本 主義…資本家と、賃金でやとわれて働く労働者による経済のしくみ

⑬ 社会 主義…生産手段の共有など平等な社会の実現を目ざす。マルクスなどが唱える

欧米諸国の発展とアジアの植民地化

アメリカ合衆国…南部と北部の州の間で対立が激化し、1861年、⑭ 南北 戦争がおこる

→⑮ リンカン(リンカーン) 大統領は奴隷解放を宣言、北部が勝利

ロシア帝国…19世紀中ごろ、クリミア戦争に敗れる→農奴解放令を出す

ドイツ…プロイセン王国の⑯ ビスマルク 首相が帝国として統一。富国強兵を進める

インド…②会社が進出。⑩のあと、安価な綿織物をイギリスが大量に輸出→インドの綿産業がおとろえる

→人々の不満が高まる→1857年、⑰ インド大反乱 がおこる

中国(清)…イギリスがインド産の⑱ アヘン を密輸→清が厳しく取りしめる→1840年、⑲戦争がおこる

→イギリスの勝利→⑲ 南京 条約 締結、イギリス

⑳ 太平天国 →重税を課せられ生活が苦しくなった

農民らが、1851年⑳ 洪秀全 を

指導者とする㉑をつくる→外国軍や

地方の有力者が編成した軍の力を借

りた清により滅ぼされる

